

2016年7月14日
日立オートモティブシステムズ株式会社

クルマの安全走行を支援する日立の車両運動制御「G-Vectoring」に基づいた 新技術をマツダが開発し、大幅改良「マツダ アクセラ」から順次搭載

日立オートモティブシステムズ株式会社(社長執行役員&CEO:関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)の車両運動制御「G-Vectoring」に基づいた新技術が、マツダ株式会社(以下、マツダ)で開発され、マツダが大幅改良し本日より国内販売する「マツダ アクセラ」から順次搭載されます。

このたび「マツダ アクセラ」から順次搭載されるマツダの新技術「G-ベクタリング コントロール(以下、GVC)」は、日立オートモティブシステムズが有するG-Vectoring制御のアルゴリズムを基にマツダが応用開発したもので、車両の横方向と前後方向の運動を連係し、四輪への接地荷重を最適化してスムーズで効率的な車両運動を実現する世界初の制御技術です。

マツダで開発されたGVCは、マツダの新世代車両運動制御技術「スカイアクティブ ビークル ダイナミクス(SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS)」の第一弾として、エンジンでシャシー性能を高める新発想の制御技術として今後の市場拡大が期待されています。

今後も日立オートモティブシステムズは、このような自動車の安全性や快適性を向上する自動車機器システムの開発を強化し、自動車メーカーの魅力あるクルマづくりに貢献していきます。



「マツダ アクセラ スポーツ」

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本社: 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル

事業内容: 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
